

平成24シカ年度 知床岬エゾシカ密度操作事業について

●実施方針

H23 シカ年度は、仕切柵を利用して効率的な捕獲を実施でき、航空センサスカウント数 265 頭の内の 81.5%を捕獲し、越冬群にこれまでにない打撃を与えた。今年度も引き続き効率的な捕獲を行う。

表1. 航空センサスカウント数とセンサス後の捕獲数

	H19シカ年度	H20シカ年度	H21シカ年度	H22シカ年度	H23 シカ年度
カウント数①	447	399	374	246	265
センサス後捕獲数②	99	72	158	57	216
①-②	348	327	216	189	49

●短期目標

仕切柵内の全頭捕獲を目指す。

直近の航空センサスの 80%以上の捕獲数を期待する。

●捕獲手法

1. 流水期へり捕獲+流水期後中規模捕獲+流水期後回収 1 回

- 期間： 1月下旬～2月上旬(へり)、3月中下旬～4月(船舶)に各1回。日帰りでの捕獲。
- 人員規模： 15人程度の中規模隊
- 実施方法： 西区画(灯台から文吉湾へ追い込み)、東区画(海岸からフクジュソウ囲い柵への追い込み)
- 死体回収： 流水明けの捕獲後に10名程度で回収作業を行う。

表 1. 平成 24 シカ年度知床岬地エゾシカ密度操作事業

		8～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
			仕切り柵 補修等		時化の激しい期間		流水期	猛禽繁殖期	仕切り柵補修等	
実施手法	モニタリング					航空カウント1回				
	●流水期へり捕獲(15人程度) +流水期後中規模捕獲(15人程度) +流水期後回収1回 いずれも日帰り。						へり捕獲 日帰り 捕獲1回	海明け後 日帰り 捕獲1回	死体回収約10人	